

タイトル：2024年度 教育セミナー（第20回）

日時：2024年度9月19日（木）～22日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3階大会議室（303）

安竹海翔（東京大学大学院人文社会系研究科修士課程1年）

私は今回、中東・イスラーム教育セミナーに初めて参加させていただきました。中東やイスラームに関係することを研究されている先生方のセミナーや院生の方々のご報告を通じて非常に多くの学びがあり、参加してよかったと心から思っています。

普段聞いたり、勉強するようなどころからは離れた時代やディシプリンの方々の発表、またそれに対する質問や先生方からの指摘を聞くことで、研究の内容というところからは離れて、どのような言葉遣いが大切なのか、問題設定として何が必要なのか、そこに向けてどう持っていくことが重要なのかといったことを学ぶことができ、非常に有意義なものでした。今後私が理論を組み立てて研究する際に参考にさせていただきたいと思います。また自分に還元するかしないかを棚上げにしても、様々な報告、セミナーは興味深いものが多く、私の学術的関心から離れていたとしても純粋に面白いと思うものでした。

特に後藤先生のセミナーでは、今まであまり考えることがなかったディシプリンや方法論をめぐる考え、研究する上での落とし穴を知ることができました。私はオスマン帝国末期のナショナリズムについて研究しているのですが、ある人の思想についてずっと読んでいるといつの間にかその考えを俯瞰して考えることを忘れがちになってしまうので今回のこのセミナーの内容を聞いて、身が引き締まる思いがしました。俯瞰して中立的に見て検討できるようにして、より良い研究をしていきたいと思います。

また高松先生とお話しする機会も頂き、普段私が取り組んでいることに対しての意見や示唆も頂いて、今後の研究の糧になりました。院生の方々とはお互いの研究内容の話をして交流できたのはもちろん、研究以外の話も含めて交流させていただき、普段外部の方や他地域、他時代、他ディシプリンの方と交流することの少ない私としては非常に貴重な機会になったとともに得難いいい経験をさせていただいたという感想を抱きました。

自分の研究内容を多くの方々に披露できて、さらにフィードバックも頂けるという機会は貴重であるとともに成長に資するものでもあると思うので、次にこの機会に参加することができたら報告にも参加してみて自分のことも披露してみたいと思います。

最後にこの中東☆イスラーム教育セミナーを主催、運営してくださったAA研所員の先生方、事務局の皆さまに深く御礼申し上げます。ありがとうございました。